

国際化社会では、白い歯や歯並びへの意識が大事

日本と比べ、歯の美しさが重要視される欧米社会

日本で“歯を白くしたい”と希望する人の多くは、歯の色に特にコンプレックスを持っている人や、特に美意識の高い人であると言えるでしょう。周囲を見渡しても、それほど歯が真っ白な人というのは見かけないばかりか、歯並びの悪い人もけっこう多いことに気づきます。それに対し、欧米、特にアメリカでは歯並びがきれいで、かつ歯が真っ白のがスタンダードとも言えるくらい、美しい歯をしている人で溢れかえっています。

先進国

白くてキレイな歯は大事ね



この違いの背景として、アメリカをはじめとする欧米社会では、歯がきれいであることがステータス

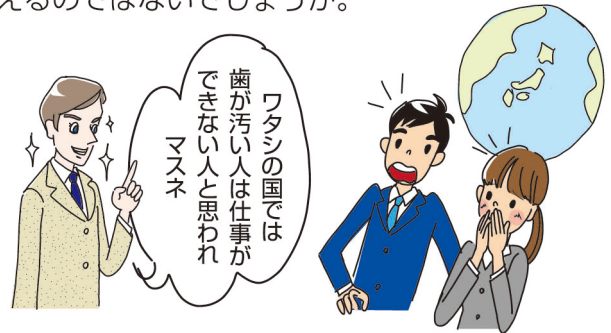
スの一種になっていることが挙げられます。歯並びが悪かったり、歯が汚いと、社会的な階級が低い人、エチケットを知らない人、自己管理



ができない人とみなされてしまうのです。歯がきれいでない、ということだけで人となりを判断され、仕事をさがすのにすら不利になってしまうことさえあるのです。そのため、欧米社会では、歯並びが悪いと子供のうちに矯正治療をし、歯の白さに対しても敏感で、ホワイトニングをするのはごく一般的なことになっています。そのため、ドラッグストアに行けば、自分でできるホワイトニングキットがたくさん売られています。



日本では社会的にあまり歯のきれいさに重点が置かれていません。そのためか、歯並びが悪いのは個性と捉えられていたり、歯の色にも無頓着な人が多いようです。日本からずっと出ないのであれば、それでも問題ないことでしょう。しかし、ますます国際化社会になりつつある現在、日本人も他の先進国の人々と同等に扱われるためには、歯の美しさにもっと目を向けていった方がよいと言えるのではないのでしょうか。



差し歯の付け根が黒い、歯ぐきの色が黒い、差し歯の作り直しが必要かもしれません。

差し歯の付け根部分の黒い線や歯ぐきの黒ずみは、笑ったときなどの見た目に影響します。このような状態になる原因に、ブラックマージンやメタルタトゥーがあります。

ブラックマージンとは、歯ぐきが下がって差し歯や土台の金属部分が黒く見えるものです。

メタルタトゥーは使用している差し歯の土台や差し歯自体の金属の成分が溶け出して、歯ぐきを黒くしているものです。

いずれの場合でも差し歯をやり直し、歯や歯ぐきを黒くしないセラミックなどのメタルフリーの材料でやり直すことをおすすめします。

